

# プロップ・ネット・ユーザー通信環境調査

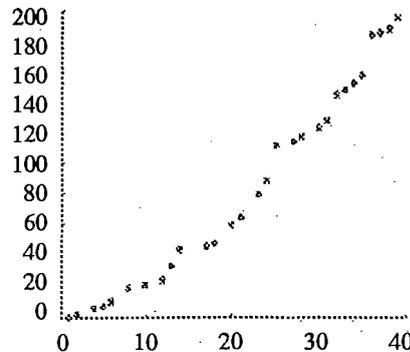
プロップ・ネットB32パソコン通信講座担当  
安東直哉

この調査は、ふと、「みんなは、プロップ・ネットへ、どのような状態で通信をしているのか？」という個人的な興味で始まりました。

早速、1994年2月にプロップ・ネット上でアナウンスしたところ、B1「フリートーク」、B32「通信講座」、プロフィール、およびメールなどを通じて、延べ28名の方が回答を寄せてくださいました。どうも、ご協力ありがとうございました。

では、アンケート結果を順に見ていきます。前半ではパソコンについて、後半ではモデムについて、と分けてまとめてあります。今後、パソコン通信を始めたいが、どのような構成にしたらよいか判らないといった方の参考にしていただきたいと思います。また、筆者の独断と偏見によるコメントをつけておきましたので、こちらも併せてご覧ください。

ID番号による会員増加率

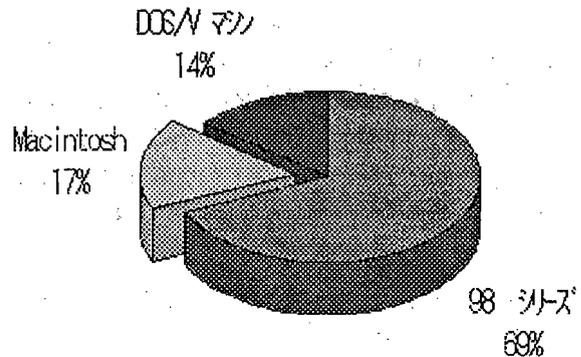


## パソコン本体

### ●アーキテクチャ

やはりというべきか、98シリーズが7割を占めました。ここでの98シリーズとは、PC-9801とPC-9821、そしてEPSON (PC-286, PC-386, PC-486) を含みます。また、Macintoshシリーズが17%しかないのは、セミナーでの人気を考えると少々、少ない気がします。

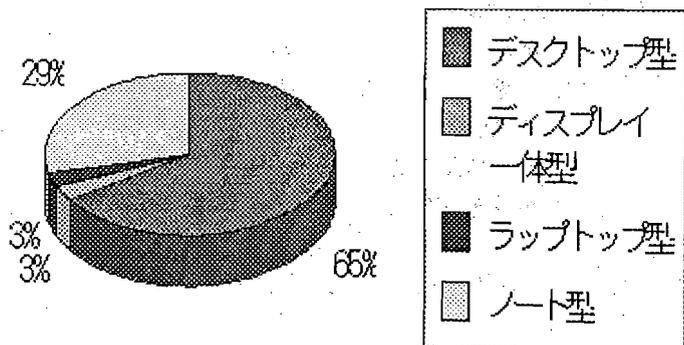
メーカー別のシェア



### ●本体の形状

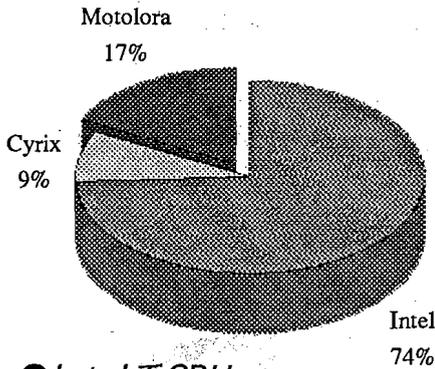
ほとんどがデスクトップ型と想像していたのですが、実際は、日本の住宅事情を反映してか、意外と省スペース型のノート型、ラップトップ型が多いのに驚かされました。なお、ディスプレイ一体型というのは、鉄仮面とも言われる、本体とディスプレイが1つになったもので、Macintoshシリーズに多いタイプです。

本体の形状



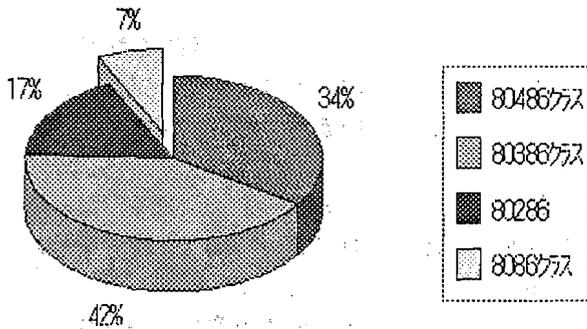
●CPU

やはり、Intel系が圧倒的に多いことが判ります。また、同じIntel系のCyrixのCPUに載せ替えている強者が1割近くもいます。



●Intel系CPU

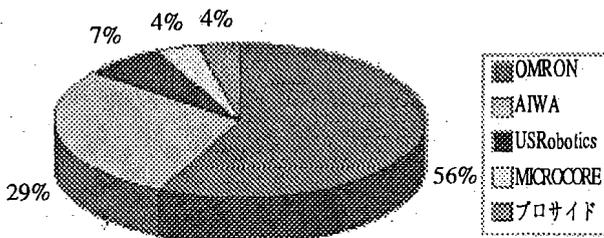
このIntel系には、Cyrix製のCPUを含みます。16bitマシンが、8086クラスと80286とを合わせると、1/4にもなり、結構、健闘しているのが判ります。32bitマシンについては、今のところ、80386マシンの方が、80486マシンより8%多いですが、逆転の日も近いかもしれません。



モデム

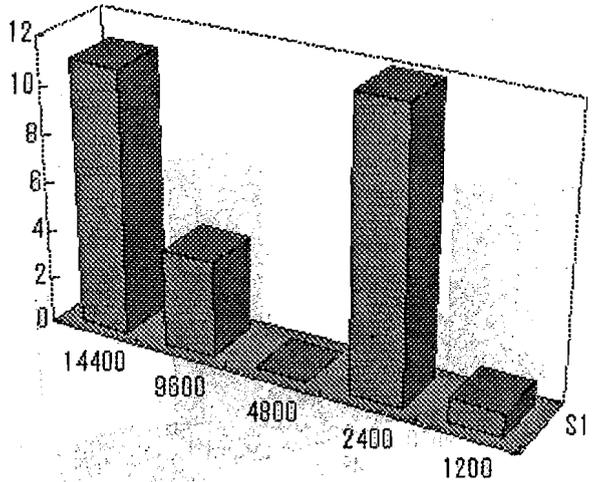
●メーカー

御無論とも称されるOMRONが過半数を占め、口コミの威力を感じました。他方、哀話な話も聞かれるAIWAも、3割と健闘しています。



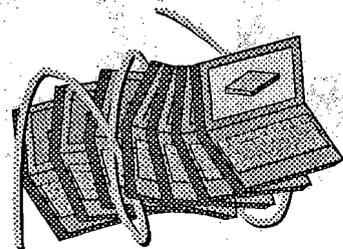
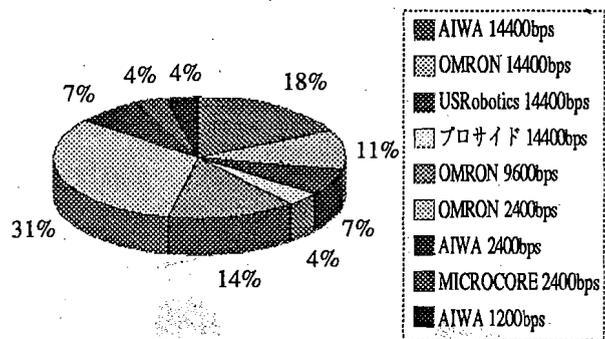
●モデムの最高速度

プロップ・ネットにはお金持ちが多いのか（実際、お金持ちのすずきさんのように「お金持ち」が頭に付けて呼ばれる方が多数おられます）、高速なモデムである14400bpsまで出るモデムの持ち主が多いのが判ります。これからモデムを買う場合は、この14400bpsのものにしておくことをお勧めします。しかし、台数ベースでは、2400bpsの方が14400bpsよりも多く、まだまだ健闘しています。



●モデムの最高速度とメーカー

モデムの最高速度とメーカーの関係をもう少し詳しく見てみます。OMRONが強いのは、2400bpsと9600bpsであり、9600bpsは、まさにOMRONの独壇場どくだんじょうとなっています。そのOMRONも、14400bpsとなると苦戦を強いられています。

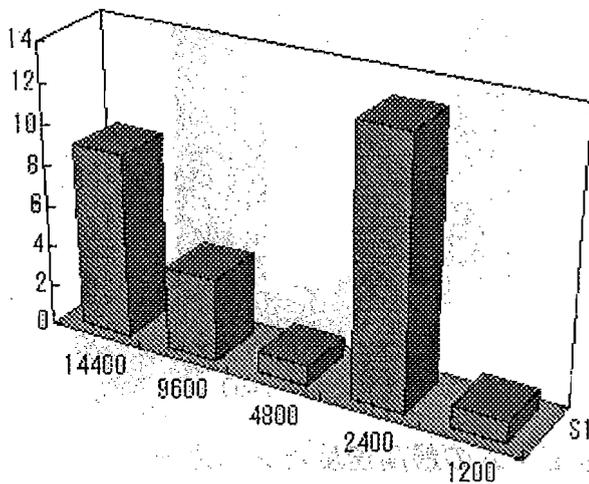


### ● モデムーモデム間速度

せっかくの14400bpsというモデムの高速な性能を活かせない人が2人おられました。お一人は回線が古いためとのことでした。もう一方は不明です。

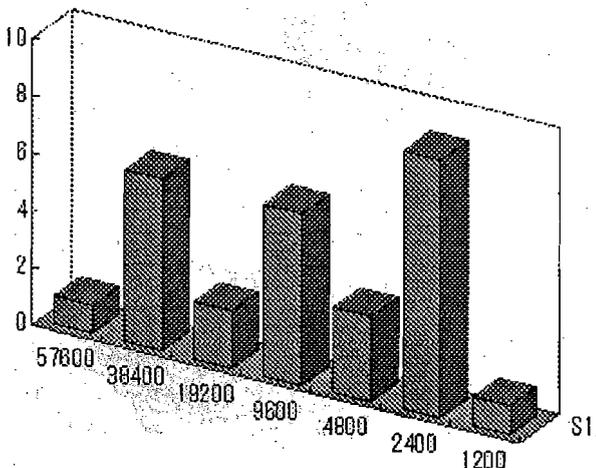
\*\*\* 突然ですがここで宣伝です\*\*\*

もし判らないことがありましたら、プロップ・ネットB32「通信講座」で質問するとよいでしょう。通信のパイオニア達が親切に教えてくれます。



### ● モデムーパソコン間速度

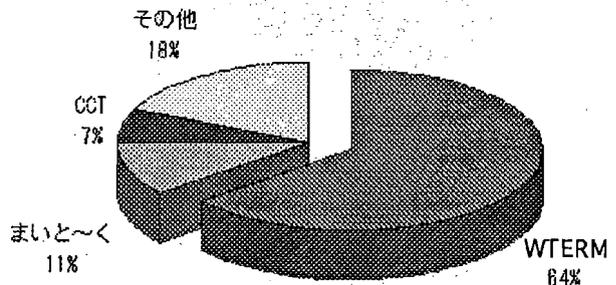
モデムーモデム間速度と、モデムーパソコン間速度の違いが判らない方がおられました。これに関しては、モデムーモデム間速度と同じであるとみなしました。



### ● 通信ソフト

一人しか使っていないものは、その他にまとめました。最も有名なフリーウェアの中の1つである「WTERM」が圧倒的な人気を誇っています。変わったものとして、Mac用プロップ・ネット専用の「もかたむ 1994.02」(mochaさん作)があります。

ということで、今回のがんばったで賞は、この「もかたむ 1994.02」に進呈したいと思います。おめでとうございます。



以上、その昔、ザ・BASICに連載されていた「ザベ・データ倶楽部」を目指して、プロップ・ネットへ参加されている方の通信環境を見てきたわけですが、いかがでしたでしょうか。

今回は、通信している本人の状況までは踏み込めませんでした。これについてはまた機会を改めてレポートしたいと思います。

では、このレポートに関する意見・感想などございましたら、プロップ・ネットのB32「通信講座」までお寄せください。お待ちしております。

### 筆者紹介

安東 直哉 (あんど う なおや)

現在、某外資系コンピュータ・メーカーに勤務するかたわら、プロップ・ネットに、あ〜ん (PRP065) というハンドル・ネームで参加している。だけではなく、いつの間にやら、B32「通信講座」のボード・オペを務めるはめに。その他、毎週、行われている98セミナーにも顔を出している。なお、障害名は二分脊椎症であり、移動には車イスと杖とを使い分けている。